

平成17年9月吉日

2005年度東京大学空間情報科学研究センター年次シンポジウムへのお誘い

2005年度の当センター年次シンポジウム(CSIS DAYS 2005)の日程が決定いたしましたので、ここに皆様方のご来臨をいただきたくご案内申し上げます。年次シンポジウムは、今回で第8回目となります。従来の年次シンポジウムは1日だけでしたが、今年度からは2日間に拡大し、空間情報科学研究センターを中心とした空間情報科学に関する共同研究の成果を広く知っていただき、また、産官学の連携の強化を促進する内容へと発展させたいと考えております。初日の午前は、Google Earthの中心的開発者であるMichael Jones氏(Google Inc., Keyhole CTO)および、空間解析の大家であるDuane F. Marble氏(オハイオ州立大学地理学科 名誉教授)の2名の先生に、招待講演をお願いしております。2つの招待講演は英語で行われ、通訳はございません。初日の午後は、「空間情報社会研究フォーラム」セッションを開催し、空間情報社会に関する産学官による共同研究の新しい枠組みの可能性・必要性・展開に関する講演と情報交換が行われます。このセッションでは、村上輝康氏(野村総合研究所 理事長)に招待講演をお願いしております。2日目は、全日を使って「全国共同利用研究発表大会」セッションを設けます。このセッションでは、40件を超える研究発表が予定されており、1日で日本における空間情報科学に関係する研究を広く理解できる新しい枠組みを提供いたします。プログラムの暫定版は、後ろの頁に付けましたが、詳細な情報あるいは最新の情報は、本シンポジウムのホームページにアクセスしてご確認ください。

東京大学空間情報科学研究センター長 柴崎亮介

東京大学 空間情報科学研究センター 第8回 年次シンポジウム CSIS DAYS 2005

- 日 時: 2005年9月27日(火)10時~19時半, 28日(水)9時半~18時
(開始時間の30分前から受付)
- 場 所: 東京大学 本郷キャンパス 山上会館 大会議室(2階)
- 地 図: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html
- 参加費: 講演 無料(ただし, 懇親会 1,000円)

参加ご希望の方は下記ホームページよりお申込みください。
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/sympo2005/>

(問合せ先) 東京大学 空間情報科学研究センター
第8回シンポジウム受付係
TEL: 04-7136-4291 FAX: 04-7136-4292
E-mail: csisdays05-office@csis.u-tokyo.ac.jp

9/27(火): 初日のプログラム

- CSIS DAYS 2005 -

<午前:「招待講演」セッション> [司会:柴崎亮介(CSIS)]

10:00~10:05 開会のあいさつ

10:05~11:15 【招待講演1】

Michael T. Jones 氏 (Google Inc., Keyhole CTO)

“Google Earth: Challenges of Geospatial Visualization”

<<http://earth.google.com/>>

11:15~12:25 【招待講演2】

Duane F. Marble 氏 (オハイオ州立大学地理学科, 名誉教授)

“Some Remarks on the Status of Research in Geographic Information Science and Technology”

<<http://www.geography.ohio-state.edu/faculty/marble/>>

(2つの招待講演とも英語で行われます。通訳はありません。)

12:25~14:00 休憩(昼食)

<午後:「空間情報社会研究フォーラム」セッション> [司会:今井 修(CSIS)]

14:00~15:00 【特別講演】

柴崎亮介(空間情報科学研究センター, センター長)

「空間情報社会:研究フォーラムの目指すもの」

15:00~16:00 【基調講演】

村上輝康(野村総合研究所, 理事長)

「ユビキタスネットワーク化と空間情報社会」

16:00~17:00 【設立総会】

<夕方:「懇親会」セッション>

17:30~19:30 【懇親会】

場所: 山上会館食堂

参加費: 1,000円

9/28(水): 第2日目のプログラム

- CSIS DAYS 2005 -

●全日(午前9時半~午後6時):「全国共同利用研究発表大会」セッション

<9:30~9:40 開会のあいさつ> [浅見泰司(CSIS)]

<午前:「全国共同利用研究発表大会」セッション[9:40~13:00]> [司会:小口 高(CSIS)]

【A: 地形学と水文学への応用】[9件]

【B: 都市環境研究】[13件]

9:40~11:40 口頭発表サブセッション(1件5分, 22件)

11:40~13:00 ポスター発表

<13:00~14:30 休憩(昼食)>

<午後:「全国共同利用研究発表大会」セッション[14:30~17:50]> [司会:柴崎亮介(CSIS)]

【C: GISと教育】[5件]

【D: 空間情報サービス】[8件]

【E: 空間ITと要素技術開発】[9件]

14:30~16:30 口頭発表サブセッション(1件5分, 22件)

16:30~17:50 ポスター発表

<17:50~18:00 閉会のあいさつ> [有川正俊(CSIS)]

● 「全国共同利用研究発表大会」セッションの趣旨と内容

- 当センターおよび全国における空間情報科学に関する研究についての発表が行われます。一般的な学会発表とは異なり、多くの一般の方々に研究を容易に理解していただくために、分かりやすい発表を行う点を強調しております。以下の2部構成になっております。
- 「口頭発表」サブセッション
1件あたり5分程度で研究の内容を紹介していただきます。たとえば、2時間のセッションでは、24件の発表内容を知っていただくことになります。この口頭発表は、次のポスター発表のインデックスとしての役割を果たします。
- 「ポスター発表」サブセッション
口頭発表では、参加者に短時間で多くの内容を広く浅く知っていただく場を実現します。一方、ポスター発表では、興味がある研究に対して、より深い内容を知っていただく機会を実現できます。すべての口頭発表が終了した後に、ポスター発表に移ります。

「全国共同利用研究発表大会」セッション(9/28)の発表リスト

【A: 地形学と水文学への応用】[28 日午前(1)]

- (A1) DEMを用いた河床遷急区間の自動抽出と空間分布解析
- 日本列島の山地流域における例 -
早川裕一(CSIS)
- (A2) GISとRSによるバングラデシュ・ブラマプトラ川の動態解析
高木哲也(JALUX), 小口 高〇(CSIS), 松本 淳(東大)
- (A3) 高解像度 DEMを用いた流域の縦・横断面形の解析
林 舟・小口 高(CSIS)
- (A4) 日本の一級水系における流域特性とその地域的傾向
山下亜紀郎(酪農学園大)
- (A5) 岩盤不連続面のせん断—透水同時特性
- GISを用いた不連続面の3次元解析 -
江崎哲郎, 三谷泰浩〇, 浦川文寛, 下田誠(九大)
- (A6) GISを用いた広域水循環時空解析システムの構築
江崎哲郎, 三谷泰浩, 池見洋明, 川内一徳(九大)
- (A7) 斜面崩壊予測のためのGIS三次元解析システムの開発
江崎哲郎, 三谷泰浩, 邱騁(九大), 謝謨文(北京科技大)
- (A8) 神奈川県の水環境マップの作成
川崎昭如, 鈴木 亘, 佐藤裕一, 佐土原聡(横国大)

- (A9) 流域圏を視点にした「ヒト・自然系モデル」の構築とGISの活用に関する研究
大西文秀(竹中工務店)

【B: 都市環境研究】[28 日午前(2)]

- (B1) 多段階リモートセンシングによる国土空間情報の構築に関する研究
菅 雄三, 北野幸宏(広島工大), 小西智久(日本キャディック)
- (B2) GISによる都市地盤情報システム構築に関する研究
服部英安, 幾志新吉, 菅 雄三(広島工大)
- (B3) 空間情報システムを適用した都市の空間構造と自動車依存性の解明
河端瑞貴(CSIS)
- (B4) 地形的条件から見た日本と英国の道路網の比較
頼 理沙, 長谷川裕之, 佐藤 浩(国土地理院)
- (B5) 日本における居住地の分布と地形との関係
- GISを利用した市町村単位の考察 -
財城真寿美, 香川雄一, 小口 高(CSIS), 小池司朗, 山内昌和(社会保障人口問題研究所)

- (B6) Urban land use pattern and spatial scale: An analysis using spatial autocorrelation index
 - Case of CBD in Tokyo Metropolitan Area -
 Yaolong ZHAO and Yuji MURAYAMA (筑波大)
- (B7) 有機性廃棄物の発生とその堆肥化利用に関する地域的特性 - 日本全体および関東地方の分析 -
 佐々木 緑(CSIS)
- (B8) 東京大都市圏におけるオフィスの立地変化と既存市街地の再編メカニズムに関する研究
 佐藤英人(CSIS)
- (B9) 不動産物件の特性に基づいた市場細分化モデルの構築
 田中麻理(東大), 浅見泰司(CSIS)
- (B10) 日本列島の Capability Map に関する研究
 杉原弘恭, 生駒依子(日本政策投資銀行), 八城正幸(リジオナル・プランニング・チーム), 山下潤(九大)
- (B11) 歴史統計とデジタルデータを利用した空間分析に関する研究
 藤田和史*, 村山祐司*, 森本健弘*, 山下亜紀郎**, 渡邊敬逸*(*筑波大, **酪農学園大)
- (B12) 京都バーチャル時・空間の構築
 塚本章宏, 矢野桂司, 中谷友樹, 磯田 弦, 河角龍典, 松岡恵悟, 河原典史, 高瀬 裕, 河原 大, 井上 学, 桐村 喬(立命館大)
- (B13) 地震災害時の道路閉塞の研究
 - 奈良市都市景観形成地区を事例として -
 堀田樹人, 碓井照子(奈良大学)

【C: GIS と教育】[28 日午後(1)]

- (C1) GIS のオンライン学習システムについて
 高橋昭子(CSIS)
- (C2) 時系列空間情報とフィールドワークを用いた GIS 実習教育
 - 地方大学文系学部生を対象に -
 田中耕市, 平井松午, 豊田哲也(徳島大)
- (C3) 大学における実践的な地域分析の講義と実習
 - Spatial Data Analysis Machine を利用して -
 駒木伸比古, 村山祐司(筑波大)
- (C4) GIS を用いた防災教育に関する研究
 畑田真宏, 碓井照子(奈良大)
- (C5) 空間情報規格の実践的教育
 太田守重***, 田端謙一*, 黒川史子*, 有川正俊**, 藤田秀之** (*国際航業, **CSIS)

【D: 空間情報サービス】[28 日午後(2)]

- (D1) CSV アドレスマッチングサービスの現状
 相良 毅(東大)
- (D2) 電子国土 Web システムについて
 河瀬和重(国土地理院)
- (D3) CSIS カタログサーバの設計と開発に関する研究
 白石 陽*, 高橋昭子*, 山下亜紀郎**, 佐藤英人*
 (*CSIS, **酪農学園大)
- (D4) 大規模地球環境データを対象としたビジュアルマイニングシステムの構築
 生駒栄司(CSIS), 谷口健司, 小池俊雄, 喜連川優(東大)
- (D5) 自律分散型 GIS の構築とキャンパスマップへの適用
 江崎哲郎, 三谷泰浩○, 池見洋明, 藤原裕司(九大)
- (D6) GIS を基盤とした災害対応情報共有システムの開発
 朴英眞, 古屋 貴司, 佐土原 聡(横浜国大)
- (D7) GPS 携帯電話と GIS を用いたサトウキビ生産管理システムの開発
 官 森林, 鹿内健志, 南 孝幸, 名嘉村盛和, 上野正実(琉球大)
- (D8) クリックブル・マップを用いた地域研究画像データベースの集成
 梅川通久, 荒木 茂(京大)

【E: 空間 IT と要素技術開発】[28 日午後(3)]

- (E1) カルトグラムの作成手法に関する研究
 井上 亮(CSIS), 清水英範(東大)
- (E2) レーザスキャナを利用した都市空間情報取得への試み
 趙 奔菁, 柴崎亮介(CSIS)
- (E3) インテリジェント基準点について
 松坂 茂, 平井英明, 山田 明(国土地理院)
- (E4) 無線 LAN 測位, GPS との融合, IC タグとの併用
 - 屋内外のシームレス測位 -
 神谷 泉(国土地理院), 小白井亮一(日本地図センター), 増田亮太(日立製作所), 神田秀彦, 羽野純(日立産機システム)
- (E5) ロケーションプライバシーに関する研究
 瀬崎薫(CSIS), 黄樂平, 山根弘(東大)
- (E6) 自分情報プラットフォームによる自分向けコンテキストウェアサービスの実現に向けて
 金杉 洋, Ta Duy Thang, 松田裕樹, 榊原庸貴, 柴崎亮介(CSIS)
- (E7) 「相対地図」の連結による位置参照のためのプラットフォーム
 小野雅史, 柴崎亮介(CSIS)
- (E8) 空間ドキュメント管理システムの設計と開発に関する研究
 浅見泰司, 有川正俊, 白石 陽, 片岡裕介(CSIS), 相良 毅(東大)
- (E9) 位置・方向・ラベルを活用する空間アルバムソフトウェア
 藤田秀之, 有川正俊(CSIS)